

「OECD 地方創生イノベーションスクール2030」への 広島県教育委員会の参加について

2030年の地域社会の課題の解決をめざし、世界各国の高校生等が国境を越えた「国際協働型プロジェクト学習」に取り組む「OECD 地方創生イノベーションスクール2030」（名称調整中）（主催：OECD イノベーション教育ネットワーク（名称調整中））に、広島県教育委員会が参加することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 「OECD地方創生イノベーションスクール2030」について

目的： 21世紀型スキルを涵養するための教育モデルの開発

生徒の力により地域課題を解決する地方創生モデルの創出

内容： 2030年の地域社会の課題の解決をめざし、世界各国の高校生等が国境を越えた「国際協働型プロジェクト学習」に取り組むもの

期間： 平成27年度～29年度の3年間

主催： OECDイノベーション教育ネットワーク

※ 平成24年度～26年度に、東日本大震災後の復興教育として行われた「OECD東北スクール」の後継事業（OECD東北スクールについては<http://oecdtohokuschool.sub.jp/index.html>を参照ください）

※ 広島県教育委員会のほか、東北（福島大学等）、和歌山（県立日高高等学校）、国立高等専門学校機構などが参加予定。

※ OECDイノベーション教育ネットワーク

主体的・協働的・探究的な学びの実現をめざし、OECD（経済協力開発機構）の協力のもと設立された産学コンソーシアム（事務局：東京大学公共政策大学院内、代表責任者：鈴木寛 東京大学教授・文部科学大臣補佐官、アドバイザー：アンドレアス・シュライヒャー OECD教育・スキル局長）。

2. 広島県における取組について

※下記はいずれも検討中の内容であり、決定し次第、別途お知らせいたします。

参加地域： 計3地域（広島県+2つの海外地域・学校）

参加生徒： 県内高等学校1・2年生 約50～60名程度（今後全県より公募予定）

活動内容： 2泊3日程度の「全体スクール」を3年間で計9回程度開催

平成28年8月に、ハワイを訪問し、現地生徒との協働活動を実施

平成29年8月には、3か国の生徒が広島に集まり、協働活動を実施

※ なお、本日、「OECD イノベーション教育ネットワーク」の発足記念シンポジウムが東京（東京大学伊藤国際学術記念センター）で行われることとなっており、下崎教育長が参加いたします。

（詳細は<http://oecdtohokuschool.sub.jp/Innovation.html>を参照ください）

【担当】

学びの変革推進課 学びの変革推進担当

主査 松岡 靖樹

（内線）4969（電話）082-513-4969

（e-mail）kyohenkaku@pref.hiroshima.lg.jp

（URL）<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/>